

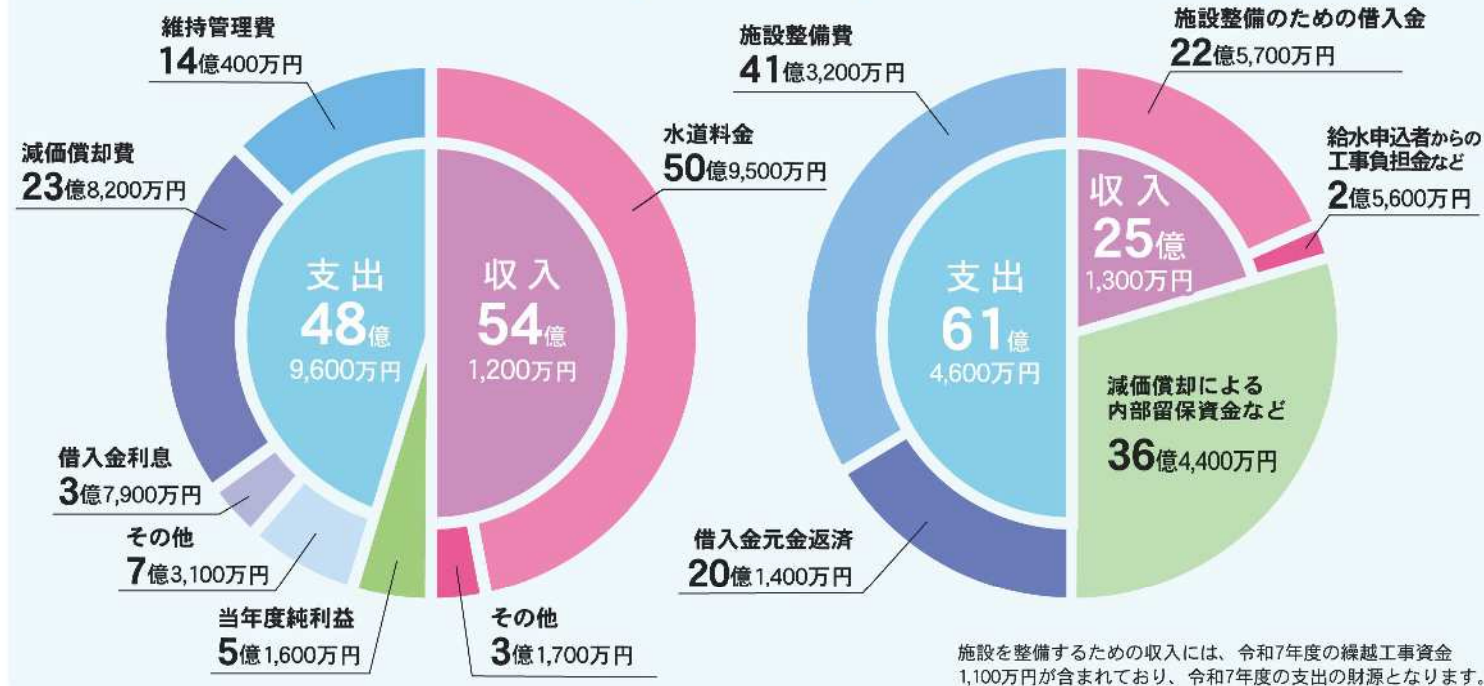
令和6年度 決算のご報告

今後も経営の効率化を図り、安定的な事業の継続に取り組んでいきます。

水道事業会計

水をお届けするための
費用とその財源（税抜）

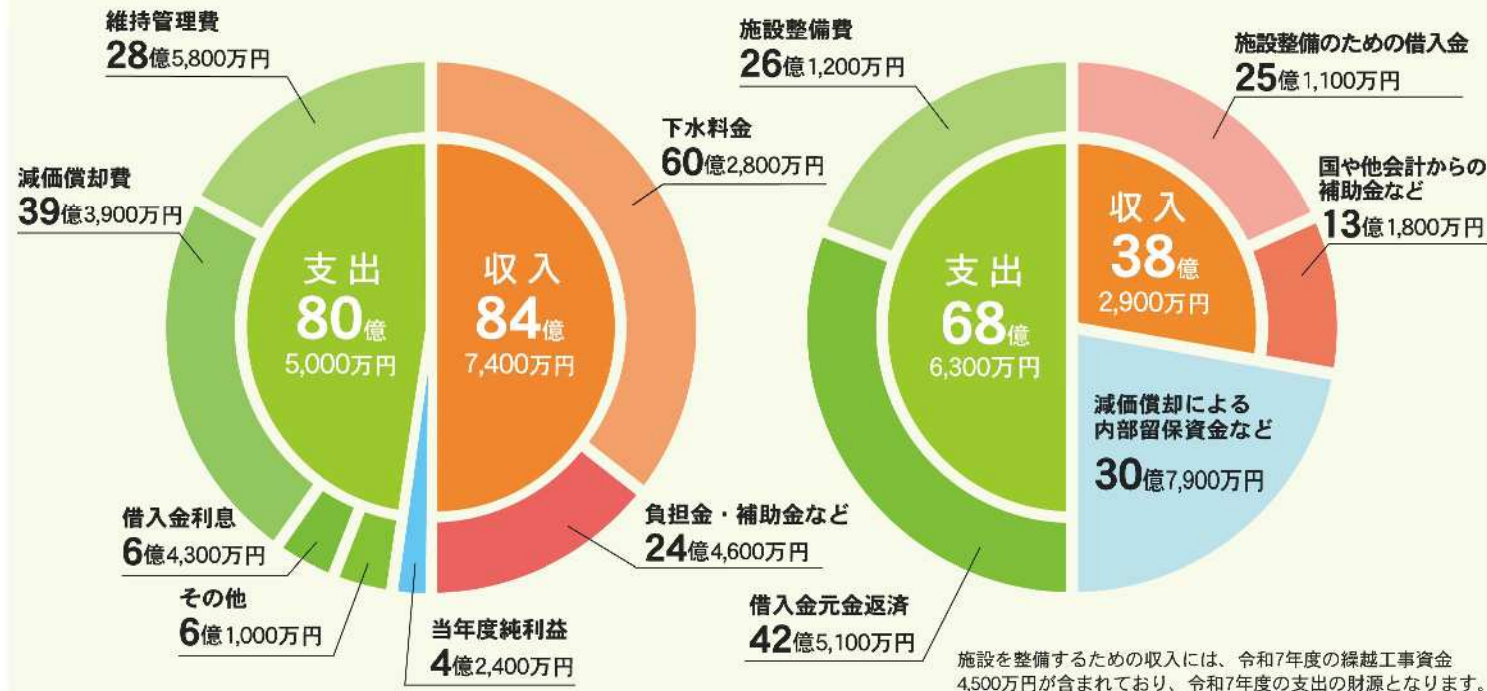
水道施設を整備するための
費用とその財源（税込）



下水道事業会計

下水を処理するための
費用とその財源（税抜）

下水道施設を整備するための
費用とその財源（税込）



令和6年度 主要事業についてのご報告

上下水道事業決算より

01 水道管の更新

水道水の安定供給を続けていくため、老朽化した水道管を計画的に更新し、災害に耐えうる水道管網を作っています。

◆実施箇所 鏡岩配水幹線など…約18km（全て耐震管）



●金華地区配水幹線

決算額 21億7,670万円

02 水道施設・設備の改築・更新

水源地や配水池の老朽化や耐震強度不足に対応するため、建物の改築工事や耐震補強工事を実施しています。

◆実施箇所 本荘配水池（西側）の耐震補強
鏡岩水源地管理棟の改築（電気・機械設備）など



●本荘配水池（西側）耐震補強工事

決算額 13億2,760万円



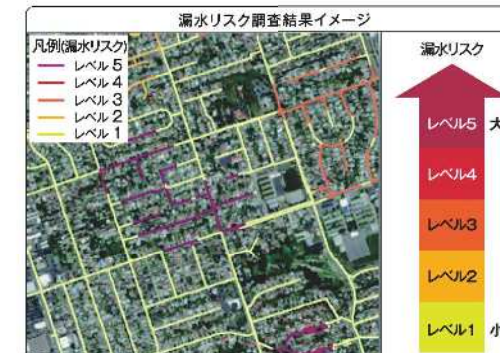
●鏡岩水源地新管理棟（電気設備）



●鏡岩水源地新管理棟（機械設備）

03 漏水調査

令和4年度より導入したAIによる衛星画像解析による漏水リスク調査を再度実施しました。市内全域の水道管の漏水リスクを5段階に分類することで効率的に漏水調査ができ、コストの削減も行うことができました。また、令和6年度に実施した漏水リスク調査は、近隣の羽島市、本巣市と一括で実施することで、一層のコスト削減に努めました。



※ジャパン・トゥエンティワン株式会社の資料より引用



決算額 5,710万円

04 下水道管の拡張整備

柳津地域における「ものづくり産業等集積地計画」推進事業による工場等の建設や区画道路の整備にあわせた下水道整備などを実施しました。

◆実施箇所 柳津町上佐波西地区など…約2.5km



●下水管布設工事

決算額 2億7,700万円

05 下水道管の更新

老朽化した下水道管を、計画的に災害に強い管に更新しています。

【管渠更生工事とは…】

既設の管の内面に樹脂等で新しく管を形成する工事で、道路を掘って管を入れ替える工事よりも短期間で、費用も安く施工できるメリットがあります。

◆実施箇所 中部処理区など…約4.1km



●下水道渠更生工事

決算額 7億5,660万円

06 雨水排水路の整備

市街地の浸水被害を軽減するため、排水路の整備を行いました。

◆実施箇所 柏木排水路など 155mの区間



●柏木排水路築造工事

決算額 3億520万円

07 下水道施設・設備の改築・更新

下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した下水処理場等の改築、更新を行いました。

◆実施箇所 南部プラントの脱水機の改築など



●南部プラント脱水機改築工事

決算額 8億7,930万円

08 下水道事業における官民連携手法の導入検討

人口減少に伴う使用水量の減少、施設老朽化による更新費や維持管理費等の増加、そして経験を有する技術職員の減少など、下水道事業を取り巻く課題に対して、国は持続的な下水道事業の運営に向けて、長期的な維持管理と更新計画の策定が一体となった新たな官民連携手法「ウォーターPPP」の導入を推進しています。岐阜市においても、令和6年度に下水道事業の現状分析および課題抽出を行いました。

決算額 1,370万円